

武漢の日本人死亡する

新型コロナウイルスの感染状況(2月10日現在)

中国	3万4546人
日本	90
シンガポール	40
タイ	32
香港	26
韓国	24
台湾	17
マレーシア	16
オーストラリア	15
ドイツ	14
ベトナム	13
米国	12
フランス	11
マカオ	10
アブダビ	7
カナダ	6
フィリピン	3
インド	3
イタリア	3
英国	3
ロシア	2
ベルギー	1
カンボジア	1
フィンランド	1
スペイン	1
スリランカ	1
スウェーデン	1



車道の通行が少なく閑散とする北京駅前大通り。8日(共同)

退避第4便 1人感染

【北京共同】中国の湖北省武漢市で重い肺炎を発生して1月から入院していた60代の日本人男性が死亡した。日本外務省が8日発表した。日本政府関係者によると、死亡したのは8日未明、男性は新型コロナウイルス感染症の可能性が高く、新型コロナウイルスの疑いで日本人が死亡したのは初めて、日本国内の感染者数は90人となった。(2面)閉鎖都市続出、9日北朝鮮が「韓国」、33日中国に社会に衝撃

武漢の日本人死亡 新型肺炎疑いで初

60代男性

【北京共同】中国の湖北省武漢市で重い肺炎を発生して1月から入院していた60代の日本人男性が死亡した。日本外務省が8日発表した。日本政府関係者によると、死亡したのは8日未明、男性は新型コロナウイルス感染症の可能性が高く、新型コロナウイルスの疑いで日本人が死亡したのは初めて、日本国内の感染者数は90人となった。(2面)閉鎖都市続出、9日北朝鮮が「韓国」、33日中国に社会に衝撃

新型肺炎 家族連れ敬遠

雪まつり閉幕 つどいむ会場半減

11日閉幕した第71回雪まつり(札幌市、札幌観光協会など主催)は、札幌市中央区の大通会場と東区のとつむ会場を合わせた来場者数が200万人を維持したものの、大幅に減った。閉幕前は記録的な少雪に伴う雪不足で、会期中は新型コロナウイルスの感染拡大が重なり、苦戦続きのまま、12日間の日程を終えた。(1面参照)



実行委は会場の感染対策に力を入れ、スタッフにマスクの着用を勧め、一方、休館時(消毒用アルコールを設置)マスクの着用や丁寧な手洗い、せきをする際に口・鼻をハンカチや腕などで覆うよう、英語や中国語などでも呼びかけた。それでも、感染への警戒

は市民に広がった。市教委によると、雪まつり見学を予定していた106の市立小学校のうち、10日までには72校(68%)が中止に。11日の家族連れが少なかった(実行委)といい、親子で雪遊びを楽しんでもらうコンセプトのとつむ会場では来場者が半減した。東京から観光で家族と訪れた主婦の松田ゆかりさん(47)は「すくすく迷ったがこれを逃したら機会がない」と、閉幕日に間に合わせた。実行委は「低温が続く、雪像倒壊や事故がなかったのは良かった。雪も降り、最後まできれいな雪景だった」と振り返った。(宮本夕梨製)

緊急対策の主なポイント

- 地方を含めて新型コロナウイルスの検査を迅速に実施し、検査結果を迅速に公表する
- ウイルスの正確な情報や感染予防の方法を広く伝える
- 観光客の減少による影響を軽減するための対策を検討する
- 2019年度予算の残りを活用し、観光客の減少による影響を軽減するための対策を検討する
- 内閣府の発生動向の監視や情報収集の態勢を拡充する

地方も検査拡充 観光業界を支援

政府は新型コロナウイルスによる肺炎の検査態勢を強化し、ワクチンや治療薬の開発を推進することを盛り込んだ。地方を含め、検査を迅速に実施し、検査結果を迅速に公表する。観光客の減少による影響を軽減するための対策を検討する。2019年度予算の残りを活用し、観光客の減少による影響を軽減するための対策を検討する。内閣府の発生動向の監視や情報収集の態勢を拡充する。

【北京共同】中国の湖北省武漢市で重い肺炎を発生して1月から入院していた60代の日本人男性が死亡した。日本外務省が8日発表した。日本政府関係者によると、死亡したのは8日未明、男性は新型コロナウイルス感染症の可能性が高く、新型コロナウイルスの疑いで日本人が死亡したのは初めて、日本国内の感染者数は90人となった。(2面)閉鎖都市続出、9日北朝鮮が「韓国」、33日中国に社会に衝撃

社説

**新型肺炎拡大 正しく知るのが大切だ**

新型コロナウイルスによる肺炎が拡大の一途をたどっている。中国湖北省武漢市で重い肺炎を発生して1月から入院していた60代の日本人男性が死亡した。新型コロナウイルス感染症の可能性が高く、新型コロナウイルスの疑いで日本人が死亡したのは初めて、日本国内の感染者数は90人となった。(2面)閉鎖都市続出、9日北朝鮮が「韓国」、33日中国に社会に衝撃

ネット上では「関西空港から入国した発熱症状のある中国人観光客が逃走した。感染者の可能性が高い」といった差別的な書き込みが流れた。悪意を含んだ言説で残念だ。中国帰りのみならず、小学校への入学を拒まれる例もあつた。だが、人権侵害だ。公的機関は正確な情報を発信する責務がある。中国当局も初動の遅れが批判されている。中国は速やかな情報発信に努め、日本政府も協力態勢を強化し、拡大を防ぎたい。流行は4〜5月ごろがピークとの見方もある。長期戦を想定した対応が求められる。エイズ治療薬やインフルエンザ治療薬などが効果があるとの報告があるが、新型肺炎の治療薬やワクチンはない。これらの開発に全力を挙げてもらいたい。北大教授らのチームは、肺炎患者の2人に1人以上は、無症状の潜伏期間中の人から感染した可能性があるとの推計をまとめた。世界保健機関(WHO)は感染から発症までの潜伏期間を「1〜12・5日間」としている。道内は今、さっぽろ雪まつりなどで人の往来が激しい。感染は、せきやくしゃみによる飛沫感染や、ウイルスが付着したドアノブに付着した手で口や鼻を触る接触感染など起る。手洗いやうがいを入念に行うなど感染症対策の徹底が重要だ。道は、感染が疑われる人と医療機関をつなぐ「帰国者・接触者相談センター」と、専門的に診療に当たる「帰国者・接触者外来」を整えた。心当たりがあれば、速やかに問い合わせしてほしい。